



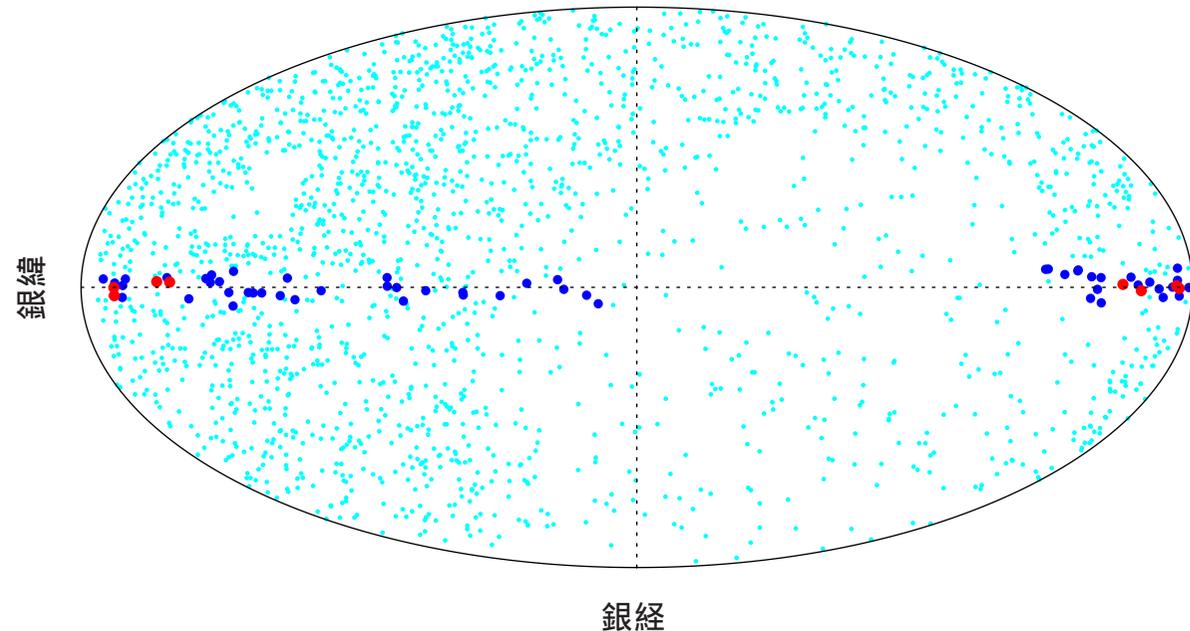
No.4 2000年 6月 29日

国立天文台 VERA推進室発行
<http://veraserver.mtk.nao.ac.jp>

第2次電波源探査観測行われる

VERAで位相補償観測を行う際に必要なVLBI電波源を探査するために、J-Net^{*}を用いた銀河面サーベイ観測が2000年5月29日と31日に行われました。今回の観測は、昨年10月に行われた100時間観測に続く第2回目の観測で、2日間で合計16時間の観測が行われ、その結果、銀河面内に8個の新しいVLBI電波源が発見されました。前回の観測と合わせると、J-Netの観測から合計59個ものVLBI電波源が銀河面内に発見されたことになり、この発見によって新たに130個を超える水メーザー源がVERAで観測できることになりました。今後も同様な観測を続けてゆくことで、銀河系内の約1千個のメーザー源のほとんどがVERAで観測可能になると期待されます。

図：VERAで参照電波源として使われるVLBI電波源の銀河座標分布。赤が今回の観測で発見されたVLBI電波源(8個)、青は昨年10月の観測で発見された電波源(51個)、水色はすでに知られているVLBI電波源(約2000個)を表す。2回の観測から銀河面内の電波源の数は飛躍的に増加したが、他の領域に比べると依然として少なく、今後ともこの領域で集中的に電波源探査を行う必要がある。



* J-Net: 国内VLBIネットワーク。野辺山 45m 鹿島 34m 水沢 10m 鹿児島 6mの計4局で構成される。